

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	海南省立内海小学校	土井 安博
学校所在地		
〒 642 - 0033 海南省鳥居190 tel 073 (482) 0258 fax 073 (483) 1648		
担当者名		役職名・担当教科
山東 勇輝		教諭・6年担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>内海は、南は藤白山脈によって旧下津町と、東は大野、北は日方と接し、西は海に面する。1911年、冷水浦・藤白浦・鳥居浦・名高浦の四浦と合併し、内海村が生まれた。熊野古道が通る古くから開けたこの土地に、冷水・藤白・名高の三校が合併し、1893年に内海尋常小学校として始まる。近年は、道徳教育、健康教育を積極的に推進し、本年からは「体力づくり」の指定を受け、研究に取り組んでいる。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 41名	名 職員 名	6年生教室、PC室、田辺市本宮町
実践研究テーマ		
和歌山県の世界遺産から、日本全国の世界遺産へと視野を広げ、文化財や自然など、日本のすばらしさを再発見しよう。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界に誇る和歌山の魅力を発見・発信しよう！	
〔キーワード〕 世界遺産学習 体験学習 和歌山県 海南省 魅力		
〔単元目標〕		
◎日本にある世界遺産の学習を通して、自分たちが住む和歌山県や海南省の歴史的な魅力を発見・発信し、郷土への愛着や誇りを持つ。		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 20 時間 （「世界に誇る和歌山の魅力を発見・発信しよう！」 19 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
海南省教育委員会 生涯学習課 …… 海南省内の埋蔵文化財について【ゲストティーチャーで講義】		
和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産講座等、現地学習ガイド等		
世界遺産マスター …… 現地学習ガイド		

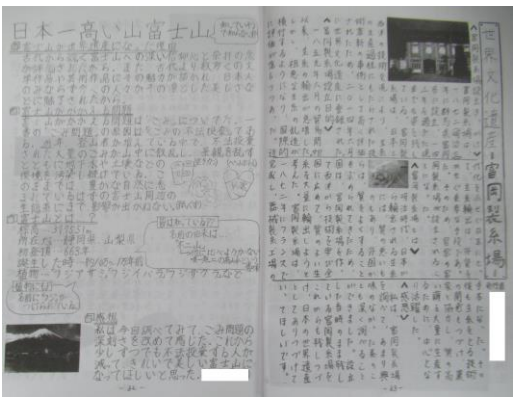
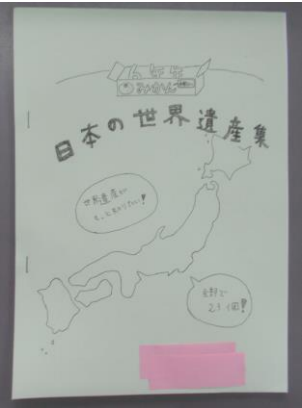
実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	埋蔵文化財を通して、海南市の歴史について学ぼう (1)	海南市教育委員会生涯学習課よりゲストティーチャーを招聘し、講義をしていただく。	発言 感想 (文)
2	日本の世界遺産について調べよう (5)	日本の世界遺産について調べ、パンフレットにまとめることで、日本には世界に誇るべき遺産がたくさんあることに気付くことができるようにする。(世界遺産登録の意味合いや、きっかけなど、具体的に調べるよう促す。)	発言 態度 学習成果物 (パンフレット)
3	和歌山の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について学習を深めよう (8)	世界遺産センターを訪ね、現地体験学習を行い、学びを深める。(事前に調べと疑問点を挙げ、現地学習ではより深い学びになるよう促す。)	発言 態度 感想 (文)
4	和歌山の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」についてまとめよう (5)	調べ学習から得た情報や、実際に現地で教わったこと・体験したことを中心に、新聞形式で模造紙にまとめる。	発言 態度 学習成果物 (模造紙)
5	和歌山の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力を発信しよう (1)	授業参観にて、保護者や地域の方の前で発表を行い、自分たちの郷土の魅力を伝える。	発表 態度
〔単元学習の成果と課題〕			
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山県や海南市の歴史について学ぶことができた。 日本が世界に誇るべき遺産を、実際に足を運んで体験して学習することで、より身近に感じ、郷土愛を育むことができた。 他教科との横断的な学習により、歴史の学習を深めたり、新聞にまとめたりする力をつけた。 校内の学習にとどまらず、保護者や地域の方に発信することで、より意欲的に取り組めた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 本校地区の熊野古道の藤白坂に、事前学習として藤白坂に足を運んで学習しておくことをしてもよかったと感じる。 			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの郷土和歌山県や海南市の良さや歴史を知るとともに、世界遺産を保持している郷土への誇りを感じることができた。 世界遺産を守っていくことは大変なことだという実感をもつとともに、先人たちにより守られてきた世界遺産を、これから先の未来へ守っていきたいという心が芽生えた。 郷土の誇りをいろんな人に発信したい気持ちや、また家族とも訪れたいと願う児童もみられるようになった。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> 今回は本宮大社～大斎原というコースを選択したが、他の魅力ある遺産や後世に伝えるべき活動がこの熊野古道にはたくさんある。そのような他の体験について、学校からの移動時間との兼ね合いから、全てを体験するのはなかなか難しいように感じた。体験できない活動については、小学生向けにわかりやすいパンフレットや動画教材、あるいは出前授業のようなものがあれば、事前指導や事後指導において、児童が郷土をより愛するきっかけになるのかもしれないと感じる。 児童に郷土愛や誇りを培い、これからの文化を受け継いでいってもらうには、校内の授業や調べ学習にとどまらず、現地での体験学習というのはとても大切であると考えます。児童の感想や取り組む態度からも、今回の体験学習はとても良い学習の機会であった。ありがとうございました。 			

様式 2

学習活動 1 : 海南市の歴史学習



学習活動 2 : 日本の世界遺産調べ



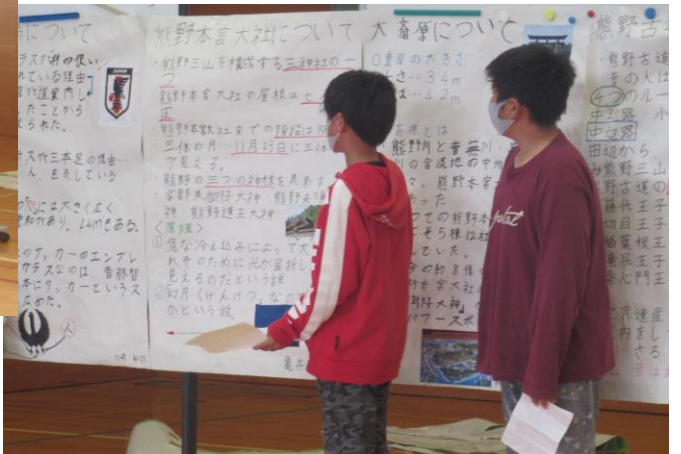
学習活動 3 : 「紀伊山地の霊場と参詣道」体験学習



(児童の感想)

- ・事前に調べていたけれどわからなかったことを詳しく教えてくれて、とても勉強になった。実際の鳥居の大きさにびっくりした。いろんな人に見てもらって、このすごさを知ってもらいたくなった。
- ・「熊野古道」となんとなく言葉では知っていたけれど、実際に行って見てみることで、和歌山県にもこんな世界遺産があるんだなあと感じた。
- ・世界遺産に登録するための苦労や大変さを知ることができた。今度は自分たちがその役割を受け継いでいかないといけないと感じた。

学習活動 4・5 : 「紀伊山地の霊場と参詣道」学習まとめ&発表会



(児童の感想)

調べて分かったことや、実際に見たり聞いたりしてわかった世界遺産のすごさを、おうちの人にも知ってもらえて良かった。